

山下（智）議員（自民議連）

平成 29 年 2 月 27 日

知事答弁実録

（環境県民局）

（健康福祉局）

（教育委員会）

（問）幼稚園・保育園担当部署の組織の一本化について

本県における子育て支援が、来年度から開始されるネウボラなど包括的になる中、包括的な乳幼児の教育・保育に関して、どのように考えているのか。また、県として包括的な子供施策を展開するため、幼稚園・保育所の担当部署を、公立・私立を問わず一本化する必要性について、どのように考えているのか。併せて知事に伺う。

（答）

乳幼児が通っております幼稚園・保育所等では、これまでも国が定めた要領、指針を踏まえ、それぞれの特色を生かしながら創意工夫を重ね、日々の教育・保育が行われているところでございます。

また、小学校就学前に、幼稚園や保育所等に通う子供もいれば、家庭と地域で一日を送る子供もおり、一人一人が様々な環境の中で育ち、小学校へと入学してまいります。

こうしたことから、家庭・幼稚園・保育所など子供が育つ環境にかかわらず、県内すべての乳幼児に小学校以降の教育の基礎を育成することなどを目指して、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを策定したところでございます。

このプランを着実に進めていくためには、家庭、地域、幼稚園・保育所等、小学校、行政などの様々な主体がつながることが重要であり、身近な地域で、妊娠期から子育て期までワンストップで支援を受けられる「ひろしま版ネウボラ」とも連携・協力しながら、「オール広島県」で総合的に取り組む必要があると考えております。

中でも、行政・関係機関が連携して、「目指す乳幼児の姿」を共有し、乳幼児期の教育・保育の充実のための施策を総合的に実施することが大切であるため、教育委員会が中心となって、乳幼児期の教育・保育を充実するために関係部局と緊密に連携して、取組を進めてまいりたいと考えております。

あわせて、秋田県の例などを参考にし、有識者の意見を聴きながら、この

プランを組織的に推進していくための拠点や担当部署の一元化を含めた組織体制の在り方についても検討してまいりたいと考えております。